

発行日 2013年9月1日

目次：

- 新入生歓迎会 P 1
開催！
- さいたま観光国際協会との協業事業がスタート P 1
- 国際交流会開催 P 2
- 韓国人交換留学生インタビュー特集 P 2
- 韓国人交換留学生インタビュー特集 P 3
- 韓国人交換留学生インタビュー特集 P 4
- 留学生在籍状況行事予定 P 4

新入留学生歓迎会開催！

4月16日(火)のお昼休みに、国際交流同好会「まのと」と国際交流課の共催で、「新入留学生歓迎会」を開催しました。この歓迎会は留学生同士のみならず、留学生と日本人学生とも知り合うきっかけ作りの場として設けられ、約30名の参加者がありました。昼食を取りなが



ら、それぞれの国の食べ物や言葉の話題等で打ち解け、国を越えてお互いのことを知り合う良い

機会となりました。新入留学生歓迎会は、今回が初めての試みでしたが、この会を通じて友人を作ることができた参加者からは、来年度以降も開催して欲しいとの声も寄せられ、留学生、日本人学生双方にとって、意義深い時間になったようです。来年度以降も、この会が留学生との橋渡しとしての役割を担ってゆければと思います。



さいたま観光国際協会との協業事業がスタート

今年度、聖学院大学とさいたま市は、国際交流、留学生の派遣に関する連携事業の包括協定を締結しました。この協定に基づく協業事業がいくつか開催されましたので、紹介したいと思います。

★はじめましての会・国際友好フェア2013

4月20日(土)にさいたま観光国際協会国際センター主催の「はじめましての会」が浦和コミュニティセンターで開催されました。本学からは9名の学生(留学生含む)が参加し、本学以外の留学生とも懇親を深めることができました。また、5月4日(金・祝)には、さいたま観光国際協会主催の「国際友好フェア2013」が市民の森・見沼グリーンセンターで開催され、本学からは韓国からの交換留学生4名を含む

学生が浴衣を着て参加。世界の味、ステージイベント等を楽しみました。

★第32回大宮薪能

5月24日(土)にさいたま観光国際協会主催の「第32回大宮薪能」が大宮の氷川神社内で開催されました。本学からは8名の学生(留学生含む)が参加し、日本の伝統芸能である能と狂言を鑑賞しました。日本に住む私たちがさえ、屋外で能・狂言を堪能する機会はありませんが、特に今回参加した留学生にとっては印象深いものになりました。留学生だけでなく、日本人学生にとっても、漆黒の闇に浮かび上がる幻想的な舞いはとても印象深いものとなったようです。



第32回大宮薪能

今後も聖学院大学は、さいたま市との協業事業には積極的に参加し、学生の刺激にしてゆければと考えています。



はじめましての会



国際友好フェア場内の様子



国際友好フェア2013

国際交流会開催



発表の様子

昨年度好評を博した国際交流会が、今年度も6月12日のアセンブリーアワーの時間に催されました。

今回は「自国と日本との関係」というテーマで、出身国がどのような形で日本と結び付いているのかという視点で8ヶ国の留学生が発表しました。中には自国の民族衣装で発表するグループもあり、普段なかなか目にするののでできない服装に参加者は一様に関心を寄せていました。また、それぞれの国の発表の最後には、その国にまつわるクイズが一題出題され、正解者は、その国の特産物が賞品として渡され、正解者が出る度に会場は大いに盛り上がりを見せました。

発表の後は、立食パーティーの時間が持たれ、日本人学生や教職員も含め、それぞれの国の話題に花が咲き、会場のあちらこちらから笑い声が聞こえてくる楽しいひとときとなりました。

国際交流会で知ったそれぞれの国の文化や習慣の違いに対する理解は、個人レベルの親交を深める上でも大きな助けとなると思います。

この国際交流会が、イベントに終わることなく、聖学院の学生ひとりひとりが世界へ目を向ける一助になってくれることを願わずにはられません。来年も乞うご期待です！

国際交流会発表者



懇親会の様子



国際交流会発表者

韓国人交換留学生インタビュー特集

ホソ
湖西大学から
欧米文化学科に1年間留学
キム アラム (Kim Aram) さん



Q: 日本に留学することになったきっかけは？

A: はじめはアメリカに交換留学に行きたかったのですが、行きたい学科が見つからず、日本人の先生に相談したところ、日本への留学を勧められ、聖学院大学への留学を決めました。欧米文化学科を選んだのは、日本に来ることが決まった時に日本語より英語の方が得意だったからです。

Q: 聖学院での授業はどうでしたか？

A: 日本に来た当初は日本語が全く分からなかったのですが、授業も理解できず退屈でした。しかし、日本語が少しずつ理解できるようになると、だんだん授業への興味も湧いて来て、楽しくなってきました。特に日本語表現の授業は、作文で自分の考

えを述べたり、話す機会も多かったので、興味を持って学ぶことができました。

Q: 日本語勉強法を教えてください。

A: 日本人の友人を作って自分の母国語から離れ、毎日日本語で生活することで、日本語が飛躍的に上達しました。

Q: 韓国と日本の違いはありましたか？

A: 韓国と日本の違いというより、私の通っていた大学と聖学院との違いになってしまいますが、韓国の大学の授業は100人位の授業なので、あまり友人ができませんでした。一方、聖学院の授業では、グループディスカッションの機会もあって、自分の考えも話せることができたので、友人をたくさん作ることができました。カルチャーショックは特に感じませんでしたが、クレジットカードが使えないお店があったのには驚きました。

Q: 韓国に帰国してからの目標は？

A: 大学を卒業してからは、もう一度外国の大学院に進むことを希望しています。私の専門はプログラミングですが、できれば日本の大学院で勉強したいと思っています。もしチャンスがなければ、他の外国の大学院に進みたいと思います。

Q: ホームステイはどうでしたか？

A: 最初は日本語ができなかったのですが、ホームステイ先のお母さんと、なかなかコミュニケーションが取れず、少し不安になりました。しかし、お母さんはとても優しくしてくれ、ホームステイ先には、様々な学生が暮らしていたので、彼らと少しずつコミュニケーションを取っていくうちに、その不安もなくなっていききました。



スングウル

聖潔大学校から
日本文化学科に1学期間留学

シム ヘジン (Sim Hyejin) さん



Q: 日本に留学することになったきっかけは？

A: 日本語の勉強のためだけではなく、直接日本の文化に触れて、いろいろなことを経験してみたかったのと、交換留学は普通の留学よりも、提携校へ留学するため、学内選考もありプライドを持って留学ができると思ったので、交換留学を選択しました。小さい時に、家族と一緒に一度だけ日本を旅行したものの、あまり記憶になく、日本料理も好きなので、もっと日本語を勉強して、日本で、日本の人と話をしたいと思っていました。韓国で、日本語の勉強方法に悩んでいたので、聖学院大学に來れば、日本語の勉強の仕方がわかると思いました。

Q: 聖学院での授業はどうでしたか？

A: 全部の授業が良かったです。単語と

文法は、韓国の授業で勉強してわかっていましたが、作文ができませんでした。しかし、聖学院大学の日本語の授業のおかげで、作文ができるようになりました。特に予備課程の授業が役に立ったように思います。予備課程以外の授業は、聞き取りが難しく、とても大変でしたが、内容はおもしろかったです。

Q: 日本語勉強法を教えてください。

A: 家に着いたらまず宿題を済ませ、毎日の小テストの勉強をし、復習もしました。そして、日本語の言い回しや、漢字など、何でも習ったものを応用しました。ホームステイ先では、韓国人のルームメイトとも日本語で話し、食事をするときも、ホームステイ先の留学生やおかあさんとも日本語で話しました。

Q: 韓国と日本の違いはありましたか？

A: 日本の学生は皆、アルバイトをし、自分で学費や生活費を稼いでいて偉い

と思いました。また、日本は、どんな小さな道もきれいで、ごみが落ちていないのはすばらしいと思いました。日本人は規則を守るところがすばらしいと思いました。(例)バスを待っている人たちも、ちゃんと一列に並ぶ等。

Q: 韓国に帰国してからの目標は？

A: 日本語を忘れないようにするため、勉強を続けたいです。日本語検定を受験し、ビジネス日本語を勉強して日本で働きたいです。日本に戻りたいです。

Q: ホームステイはどうでしたか？

A: おかあさんが本当の家族のようにしてくれました。ホームステイ先には外国人留学生もたくさんいて楽しかったです。おかあさんからはわからないことをたくさん教えてもらいました。イベントにも連れて行ってもらい、浴衣や着物を着せてもらいました。ホームステイを通してとても楽しく、良い経験ができました。

スングウル

聖潔大学校から
日本文化学科に1学期間留学

シン ユヒョン (Shin Yuhyeon) さん



Q: 日本に留学することになったきっかけは？

A: 韓国の大学で日本語の勉強をしていたものの、日常生活の中で会話をする機会がなかったので、毎日話す環境を求めて、日本への留学を決意しました。日本での生活を通して、日本の文化、習慣を学びたいと思いました。

Q: 聖学院での授業はどうでしたか？

A: 日本に來たばかりの頃は、もともと日本の文化に対する知識がなかったせいもあり、授業が大変難しく感じられました。しかし、毎回授業に出席しているうちに少しずつ理解できるようになり、次第に楽しくなってきました。特に先生が学生に親身になって接して下さったことが印象的で、健康面にまで気遣って下さったことに感謝しています。

Q: 日本語勉強法を教えてください。

A: はじめはとにかく単語を食べるつもりで

覚えるようにしました。今は単語だけでなく、周辺知識から学んでいくことができるようになり、日本語の理解もより深まりました。

Q: 韓国と日本の違いはありましたか？

A: 韓国と日本は隣国なので、共通点が多いと考えていましたが、思っていたより相違点が多かったです。特に初対面の人に対してはコミュニケーションを取るのが難しく、韓国にいた時より親くなるまでに時間がかかるように感じました。ただ、一度親くなった友人とは深い人間関係を築くことができ、お互い楽しい時間を過ごせるようになりました。

Q: 韓国に帰国してからの目標は？

A: 日本語を忘れないようにするため、勉強を続けたいです。将来的には日本語検定を受験し、ビジネス日本語を勉強して日本で働きたいです。日本に戻りたいです。

Q: 学生寮はどうでしたか？

A: 私はより多く自分の時間を取りたかったので、学生寮を選びましたが、

もし今後留学する学生に聞かれたなら、ホームステイを勧めたいです。自分の時間を持つことは確かに大切だけれども、より速く日本語を覚えるためにはホームステイの方が良いと思います。



日本のお母さんと

スングェル

聖潔大学から
日本文化学科に1学期間留学
ソン エヨン (Son Aeyoung) さん



Q: 日本に留学することになったきっかけは？

A: 父の影響で日本語を勉強していたので、日本に来て、日本語を上達させたいと思ったからです。

Q: 聖学院での授業はどうでしたか？

A: 全ての授業がおもしろかったです。特に、日本語の授業が役に立ちました。中でも、船山先生の「音声表現理解」の授業がとても良かったです。日本語の授業のクラスには、留学生がいるので、留学生とも友達になることができました。

Q: 日本語勉強法を教えてください。

A: ホームステイ先で、皆でテレビを見るのが、とても役に立ちました。授業で習った内容をテストのために勉強し、その日本語をホームステイ先や日本人の友達と話すときに活用するように努力しました。

Q: 韓国と日本の違いはありましたか？

A: 日本の物価の高さに驚きました。全てに関して、物価が高いです。日本人は、とてもshyなので、友達になるまでにとっても時間がかかりますが、一度友達になり、仲良くなると、韓国の友達よりも仲良くなれたように思います。たくさんの留学生とも友達になることができました。日本人よりも留学生の方が日本語で話しやすかったです。留学生にとっても日本語は、第2言語なので、会話をするときに、恥ずかしくないし、日本語を直してくれるからです。生活面では、日本人は、韓国人(私の韓国での生活)よりも規則正しい生活をしていると思います。例) 朝決まった時間に起きて、大学に来て、アルバイトに行き、家族の夕食の時間が決まっているので、遊んでいても夕食までに帰宅する等。

Q: 韓国に帰国してからの目標は？

A: 絶対に日本に戻って来ます。

日本で働きたいので、日本で勉強した日本語を上達させたいと思っています。とにかく日本に戻りたいです。

Q: ホームステイはどうでしたか？

A: おかあさんがたくさんイベントに連れて行ってくれました。浴衣や着物を着せてくれたりして、日本の家庭での生活を経験することができ、とても良かったです。



東京スカイツリー

外国人留学生国別在籍状況

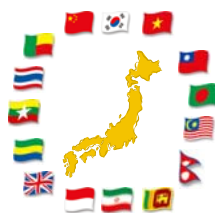
	国籍名	国計
1	中国	198
2	韓国	17
3	台湾	4
4	ネパール	4
5	ベトナム	3
6	マレーシア	2

2013年5月1日現在

	国籍名	国計
7	スリランカ	2
8	ミャンマー	2
9	イラン	1
10	タイ	1
11	ベナン	1
12	セネガル	1
	合計	236

お知らせ・イベント

- 9月 秋入学式・卒業式
秋の留学生ガイダンス
- 10月 夏期海外研修帰国報告会
春期海外研修募集開始
- 11月 春期海外研修締切・面接
- 12月 第11回聖学院大学留学生日本語弁論大会
第7回聖学院大学英語スピーチコンテスト
- 1月 春期海外研修準備講座
- 2月 春期海外研修出発
- 3月 春期海外研修帰国
留学生ガイダンス 卒業式



学内スピーチコンテストのお知らせ

- ◆ 12月4日(水)11:00~12:30
第11回聖学院大学留学生日本語弁論大会
- ◆ 12月11日(水)11:00~12:30
第7回聖学院大学英語スピーチコンテスト

SEIGAKUIN UNIVERSITY

聖学院大学 国際交流課

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1番1号
2号館1階

TEL 048(725)2801 FAX 048(781)0094

Email: kokusai@seigakuin-univ.ac.jp

窓口受付時間

月 9:00~16:00 火~土 9:00~11:30, 12:30~16:00